

令和2年度 第3回 岸和田市男女共同参画推進審議会 会議録

内容承認	白出会長 承認		
公開・非公開の別	公開	議事録の形式	要点記録
会議名	岸和田市男女共同参画推進審議会（第3回）		
日時	令和2年11月5日（木）午後2時～4時		
場所	岸和田市市役所 新館4階 第2委員会室		
出席委員	白出会長、松田副会長、実川委員、藤本委員、奈良岡委員、櫻井委員 （以上6名）		
欠席委員	野口委員、寺内委員（以上2名）		
事務局	小堀人権・男女共同参画課長、船津男女共同参画担当主幹、 西川男女共同参画センター所長、古森、辻村（以上5名）		
傍聴人数	3名		
次第	・第4期岸和田市男女共同参画推進計画（案）について		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>①次第</li> <li>②第4期岸和田市男女共同参画推進計画（案）（資料1）</li> <li>③第4期岸和田市男女共同参画推進計画策定スケジュール（資料2）</li> <li>④意見聴取手続制度の概略（資料3）</li> <li>④第4期岸和田市男女共同参画推進計画（案）に関する意見まとめ（資料4）</li> <li>⑤座席表</li> </ul>		

## < 議題等 >

### 1. 議題

- ・第4期岸和田市男女共同参画推進計画（案）について

#### < 審議概要 >

会 長 本日の審議は第4期岸和田市男女共同参画推進計画（案）についてです。それでは審議に入ります。事務局より説明をお願いいたします。

事務局 （配布資料にもとづき説明）

会 長 計画案全体について、ご意見ご質問のある方はご発言をお願いします。

委 員 36ページ、成果指標が掲げられています。5年後の中間値と10年の目標値を設定するということですが、10年間で状況が変わると思います。計画期間を10年ではなく5年にしたらよいのではないかと思わないでもないのですが、5年後に新しく必要となった施策について、どのように反映させるのかお聞かせください。

事務局 計画案の4ページをお願いいたします。計画期間は10年としていますが、5年を区切りとして、計画の進捗状況を検証し、新たな課題への対応を含めて見直しを図ります。

委 員 その場合には、この計画自体が変わる可能性があるということですか。

事務局 どのように見直すか具体的なことはまだわかりませんが、現在、施策が115項目ありますが、時代に合っていない項目がありましたら、その項目を削除したり、逆に新しい課題がでてきた場合は、それを盛り込んでいくことが必要であると考えています。

委 員 計画期間を5年にするという考えはあったのでしょうか。

事務局 事務局でも10年は長いため5年の計画にしてはどうかという議論がありましたが、最終的に10年の計画にして途中で見直すという結論に至りました。

委 員 成果指標の話がありましたが、36ページ、5年後の中間値を見ますと、単に現状値と目標値の中間の数値をとっているように思われます。例えば、岸和田市男女共同参画推進条例の認知度ですが、中間値が50%になっています。ここをまず上げなければ、ほかの項目がついてこないように思います。ですから、言葉の認知度については、5年で最終目標値まで上げておくというように、中間値は項目ごとにメリハリをつける必要があると思います。

事務局 計画に記載している施策についても、何から始めるのか優先順位をつけて進める必要があると考えています。目標値の設定について再度検討したいと思います。

委 員 「岸和田市男女共同参画推進条例の認知度」は、男女共同参画社会基本法の制定から30年経ちますので、目標値は80%でなく、気持ちとしては100%にしてほしいです。

会 長 委員のご意見を踏まえて、目標値の優先順位について検討いただけたらと思います。

委 員 用語説明を各ページの欄外に記載しているのは巻末にあるより分かりやすいと思います。8ページの欄外にリプロダクティブ・ヘルス/ライツの用語説明がありますが、おそらく一般の人には馴染みのない言葉だと思います。わかりやすくするためにどうしたらよいのかと考えたとき、カタカナの用語に関しては、英語を併記すると分かりやすいのではないのでしょうか。DVなら、Domestic Violenceの略である という具合です。それに加えて、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの場合は、一般的に「リプロとも呼ばれている」などと記す

のはいかがでしょうか。カタカナ用語については、できるだけ説明を加えたほうが良いように思います。

事務局 カタカナ用語については、英語併記し、どの部分が略されているのか分かるように改めたいと思います。

会 長 23ページに「ジェンダーギャップ指数」の記載がありますが、この言葉については5ページの欄外に説明があります。言葉が出てくるページの欄外に用語説明があるのは分かりやすいですが、同じ用語が別ページにも出てくる場合、見やすい方法を考えていただきたいと思います。また直近の「ジェンダーギャップ指数」は2019年12月16日に発表されています。新しい数値が12月に発表されるかもしれませんので、最新の数値に置き換えてください。

では、次に、委員のみなさまから事前にご意見をいただいた内容のうち、資料4の17番、計画案29ページの「男女で子育てすることへの支援」の表記についてご意見を伺いたいと思います。シングルマザー、シングルファーザーで子育てしている家庭があるため、見直しが必要ではないかという意見がでています。先ほどの事務局からの説明にありましたように、女性だけに子育ての負担が偏るのではなく、男性も子育てするという意味合いだということですが、適切な表現がないかご意見をいただければと思います。

委 員 ひとり親の場合は、94～101番の施策はどのように変わるのでしょうか？

事務局 94～101番の施策については、シングルマザー、シングルファーザーだからといって変わることはないと考えています。

会 長 前回の計画案ではどこに該当しますか。

事務局 前回お配りした計画案では、29ページの基本施策3「一人ひとりが自分らしく暮らせるための仕組みづくり」の「②子育て支援」が該当するところです。男女共同参画の視点からの支援であることを明確にするため、「子育て支援」から「男女で子育てすることへの支援」に変更しました。

委 員 男女ペアに問題があるとすれば、男と女の間にはスラッシュを入れ、男／女と表記してはどうでしょうか。

会 長 「子育てについての男女共同参画」とするのはどうでしょうか。ひとり親への支援では、女性のひとり親に対する支援に比べて男性への支援が不足していると言われることがあります。男女の不平等をなくすことももちろんですが、ひとり親への支援の充実も含めて考えるということでしょうか。

事務局 ひとり親への支援については、子育て応援部で取り組んでいる課題です。そこでの取組をそのまま男女共同参画計画に入れることはできないと考えていますが、「ひとり親への取組」を別途、本計画に盛り込むことが必要か、ご意見を伺えたらと思います。

会 長 様々な人権の充実を図ろうとすると広がりすぎて、男女共同参画の視点という本計画の趣旨からずれるように思います。ひとり親に対する支援の充実について、本計画に入れるかどうかの議論が必要かと思います。その点について委員のみなさまのご意見をいただきたいと思います。

委 員 私は「男女で子育てすることへの支援」という記述で良いと思います。ひとり親のほか、同性のカップルで子育てをされている事例も承知しておりますが、両親がいても父親が

育児に関われない現状もあるかと思います。男性も育児や家事をするのが当たり前になることをめざす必要があると思います。

委員 施策の方向のタイトルだけの問題ではなく、「育児に関する相談窓口の充実」などすべての施策の内容において、男女共同参画の視点がぼやけているように感じます。施策の方向のタイトルは、「子育てに関する男女共同参画」などが良いのではないかと思います。切り口としては、男性がもっと子育てに関わりやすい社会という視点がいいと思います。

会長 施策の内容について、ひとつひとつに男女共同参画のニュアンスを入れることは難しいですが、誤解を避けるという意味で、単なる子育て支援とは違うという表現の工夫をしていただきたいと思います。

事務局 委員のみなさまのご意見を参考に、単なる子育て支援とは異なるということが明確になるように検討したいと思います。

委員 すべて男女で一緒にすると考えるのはおかしいのではないのでしょうか。男女共同参画は男女という固定的なものを取り払って、男であれ女であれという考え方で、なんでもかんでも「男女」と入れることがこの計画の目標ではないように思います。

委員 105番も「男女で介護することへの支援」となっています。これまで女性中心でやっていたことに男性も関わる方向に導きたいということなのだと思うのですが、子育て以外の項目も洗い出して検討いただきたいと思います。

委員 最初に問題提起させていただきましたが、「男女」ではなく「みんな」でとの方が、この先の時代に合っているのではないかというところに戻ってきてしまいます。もしかすると「男女」とすることで逆に苦しむ方がでてくるのではないかと思います。

会長 本計画は男女共同参画推進計画なので、「みんな」でとすると、男女共同参画の視点がぼやけてしまいます。ご指摘いただいたように、105番「男女で介護することへの支援」でも子育てののところと同じ問題が起きているということですね。もう少しご検討いただくということでどうでしょうか。

委員 103番は「障害のある女性への就労支援」なのですね。

会長 女性相談もそうですが、女性だけを対象にした行政サービスがいくつかあり、この「障害のある女性支援」というのもそのひとつになります。

事務局 先ほど「外国籍への女性への支援」を追加したという説明でも申し上げましたが、女性であり外国籍であるという複数の課題がある人と同様に、障害のある女性も複数の課題のある人への支援ということで書いています。

基本施策3「一人ひとりが自分らしく暮らせるための仕組みづくり」については、女性だけではなく男女がもっと参画していこうという意図のもとに施策をまとめました。全部が男女共同参画の視点をもとにしているのですが、すべてに「男女共同参画」と書くと分かりにくくなるという事情もあり、エッセンスを抜き出した表現になっています。男女というくりだけでなく、「男性」「女性」という考え方も考慮していかなければならないのではないかということについて、私たちは議論していないことに気づきました。趣旨としては最初に申し上げたとおりですが、それも含めて、どのような表現が多くの人理解につながるのか再度検討させていただくということでどうでしょうか。

会長 男性に対する支援ということに関連して、27ページからのDV防止対策の部分ですが、

言葉が浸透し始めたときは女性が被害者でしたが、最近は男性からのDV相談がありますので、DV防止対策にしても、DV被害者は男性も女性もいるということが表現できているのかどうか気になりまして、皆さんのご意見を伺いたいと思います。

委員 圧倒的に女性が被害者であることも事実、しかし男性の被害者がいることも事実です。ただ、女性の被害者は相談に行くけれども、男性の被害者は面子があるとか、経済力があるため妻のDVから逃れられるなどの理由で相談になかなか行かないということがあります。しかし、相談したい男性もいますし、今まで気づかなかつたけれど自分は妻に支配されていることに気付いてもらうことも大事だと思います。私は男性の被害者に対する相談、救済も必要だと思いますので、女性に限るような表現は避けた方がよいと思っています。

会長 85番「DV相談につながる女性相談の充実」もDV相談が女性に限ったものだと受け止められると困るということで、「つながる」を「及び」に変えると事務局から提案がありました。女性相談は女性に限定していますが、DV相談は女性に限っていません。実際に男性被害者の相談も受けているようですが、この表現で趣旨が伝わるでしょうか。

委員 DV相談と女性相談が別のものであれば、別の項目の方が良いのではないかと思います。

会長 先ほどご提案があったように男性も女性もDVの被害者になりうるものだという事について、もう少し説明を加えてはどうでしょうか。

委員 DVというと配偶者からの暴力というイメージがあります。女性相談のなかにはデートDVやJKビジネスも含まれているように思います。

会長 女性相談はDVに限らず仕事、子育て等に関する相談全般を受けていただけると聞いています。DV相談とは違うものですが、この項目の基本施策がDV防止対策なので、女性相談を分けてしまうと基本施策に合わなくなるのではないかと思います。他の相談からもDV相談につなげていくという意味合いなら、女性相談に限らず、他課からの情報提供も含めてはどうでしょうか。

事務局 この項目の趣旨は、今、会長がおっしゃられたように、女性相談から本人が気づいていないDVの認識を導き出したいということです。ひどい目に遭っているのにこれで当然だ、自分が悪いのだと思っている方の相談を受けるなかで、DVの早期発見の難しさも感じていました。この項目は、相談支援体制を充実させるとともに、DVの早期発見を進めていくためにも、DV相談につながるような女性相談のあり方を検討していかなければならないというのがスタートでした。

会長 先ほど私が言った関係課との連携は80番にありますね。DV相談の体制を考えるということでも良いと思いますし、男女共同参画センターの女性相談の見直しということでも良いと思いますし、どちらに主眼を置くのかということで検討いただけたらどうかと思います。

事務局 さまざまなご意見がありました。どのようにするか事務局の方で検討したいと思います。

会長 審議会とか協議会、人材バンクという言葉の意味がわかりにくいと思います。市役所で使われている言葉だけれども一般市民にはなじみのない言葉には、解説があった方が良くと思いますので、ご検討ください。

事務局 ありがとうございます。少し前に会長からこの計画書は誰のために作っているのかとご指摘を受けまして、基本に立ち戻りました。これは市職員だけが読むものではない、市民に

読んでいただいて、一緒に進めていくものものだと意識しなければならないと再認識しています。一般的になじみのない言葉について再度チェックして次回お示しできたらと思います。

会 長 計画本編のうしろにかなり多くの資料がついています。ネットで情報を得ることができる現在、この資料はどこまで必要でしょうか。デジタル社会に向けての視点も必要ではないかと思いますが、この点についてもご意見いただけたらと思います。

委 員 大学ではコロナの影響で遠隔授業をしています。判例・条文はQRコードで学生に提供しています。若い世代は、それでいいのかもしれませんが、そうでない世代にとって、この資料をデジタルにしているのかどうか、なかなか難しいです。

委 員 計画書の本質的なところを多くの人に知ってもらう努力は必要ですが、全てを期待するのは無理です。20万人の市民がこれを読んで同じ受け止め方をすることはないため、最大公約数で表現せざるを得ないと思います。もし議論になれば、これはこのような趣旨であるとその場で担当課が答えれば良いのではないかと考えています。先ほどの「男女で」という部分についても、どのように活字で表したら分かりやすいか、なかなか結論が出ないように思います。

会 長 この冊子を市民の一人として見たときに、もっと内容がわかりやすくなるためにはどのような工夫が必要だと思われませんか。

委 員 これが冊子となっても読む人は少ないと思います。どんな工夫が必要かと言えば、文字数やページ数を少なくすることです。私はデータベース化することはあまり好きではないですが、これだけの資料が本当に必要なのか取捨選択してはどうかと思います。

委 員 ペーパーかデジタルかということですが、私自身は年齢のせいかもしれませんが、データをプリントアウトしないと資料として活用できません。私と同じ世代の仲間たちもそのように言っています。世代によってはデジタルで見るのが苦手な人がいるのではないのでしょうか。

委 員 概要版は作るのですか？

事務局 A4で8ページの概要版を作る予定です。

会 長 ささまざまな年代の方に見てもらうには、資料も計画書に添付する方がよいということですが、読みやすいものにするためにもう少し内容を検討をお願いします。他にご意見はありませんか。

委 員 成果指標についてですが、市民意識調査から算出する項目には目標値が入っていない部分があります。目標値を設定しないのでしょうか。

事務局 目標値が入っていないところがありますが、今後数値を入れる予定です。

委 員 アウトカムという表現がありますが、アウトカムは成果という意味なので、アウトカム指標とするのがよいと思います。

事務局 「成果指標」いう表現に変える予定です。

委 員 13ページの1行めに「基本課題と施策の展開」、次の行には「基本目標」とありますが、これはなぜでしょうか。

事務局 もともとは「基本課題」としていましたが、進んでいく方向を示すものであるため「基本目標」に修正しました。13ページ1行めも「基本目標と施策の展開」に修正します。

- 委員 資料31ページ合計特殊出生率ですが、このグラフが非常に気になります。岸和田市は全国や大阪府より数値が高い。このグラフは、どういう目的で掲載しているのでしょうか。
- 事務局 このグラフは、少子高齢化が続き、本市を支える次の世代が少なくなる状況のなかで、施策を考えていかなければならないということを示すための資料として用いています。国や大阪と比較するためのものではありません。
- 委員 グラフのなかで比較してしまいますので、岸和田市の状況は良いと錯覚してしまいます。高いのではなく低いですが、それは伝わりません。
- 委員 ささまざまなグラフが掲載されていますが、国の数値が出ていたり、岸和田市の数値が出ていたり、統一感に欠けているとも感じます。
- 委員 他市と比較するとなにか出てくるかもしれません。子育てしやすいまちであるかなど。
- 会長 それは、まちづくりの分野になると思います。
- 委員 まちづくりでいうと、14ページ「男女が共に担う地域活動」について、共に担う必要があるのか私のなかでは違和感があります。それが男女共同参画かという違う気がします。地域活動は色々あっていいと思います。
- 事務局 この項目の趣旨としても、男性、女性どちらか一方に偏るのではなく、男性も女性もどちらも参加して、さまざまな意見を出しあいながら町会等の地域活動をしていくということです。
- 委員 難しいですね。これまで一方に集中していたところに、両方を入れようとする、どうしても「共に」となってしまいます。
- 会長 「担う」という言葉には、重荷を背負うというイメージがあります。町会の仕事は、すごく大変で、町会長さんはみなさんご苦労されているのですが、自治振興課はこの表現で問題ないのでしょうか。
- 事務局 前回の審議会のあと、自治振興課と話し合いをした結果、この表現でまとまりました。「担う」という部分について自治振興課から問題だという意見は出ていません。
- 委員 「担う」でいいと思います。子育ても介護も地域活動も一緒にするのは役割ですよね。一緒に行動するのではなく、役割をもつということがしっかり表現できていれば誤解はうまれにくいのではないかと思います。
- 委員 町会活動を実際に担っているのは女性なのに、役員は男性で、女性の名前が表に出てこないというのは男女共同参画の意識が低いのかなと考えています。
- 会長 計画本編と資料編の計画編のページの振り方ですが、どちらも1ページから始まっていますが、どちらかに()をつけるなど、工夫をお願いします。
- それでは、そろそろお時間ですので、令和2年度第3回岸和田市男女共同参画推進審議会を終了します。